

2011年を振り返って

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

今日は12月31日で、2011年の大晦日です。皆さんにとって、今年はどうの年だったでしょうか。

2. 2011年を振り返って

- (1) 本年の3月11日には大きな地震が発生し、それによって大きな津波も起こり、多くの皆さんがお亡くなりになるなど、大変な状況になられた方がたくさんいらっしゃいました。また、原発事故による放射能漏れによって地元を離れた方、風評被害によって大変な事態に陥った方もたくさんいらっしゃると思います。このような辛いことを経験しながらも、皆さんは一所懸命にこの1年を過ごされたのではないかと思います。
- (2) さて、私は福島県の福島市にある学校法人有朋学園の理事長を仰せ付かっています。その学校は、有朋高等学院という高等学校です。NHK 学園高等学校とも提携していて、中学生や高校生のときに引きこもりがちになったお子さんをお預かりして、高等学校の教育課程をすべて修了させて高校を卒業していただくという学校です。生徒さんは皆さん通学です。
- (3) 有朋高等学院では120名ぐらいの生徒さんが学んでいますが、放射能のことを毎日毎日に置きながらも、本当に一所懸命に勉強しています。小さい学校ですので、先生方の数は30名近くと少ないですが、先生方もまた一所懸命に教えています。
- (4) そのような中で特に感銘深かったのは、有朋高等学院の何名かの生徒さんと何名かの先生方が週末に三陸方面に後片づけなどのボランティア活動に行っていたりすることです。ほとんど毎週行っている方もたくさんいらっしゃいます。尊いことをなさっておられるのだなと感銘を受けています。
- (5) 関東地方から被災地に行って後片づけなどのボランティア活動をする方もたくさんいますが、東北地方の方は東北地方の方どうしで支え合ってもおられます。困ったときはお互い様、身近な方々で支え合うことは本当に大切だなと思います。
- (6) それにつけても今年は大変な年でしたので、来年こそはよい年であってほしいと思います。皆さんも、今年を振り返る意味で、今年起こったことをまとめ、また、来年はどうの年にしたかをまとめながら、12月31日大晦日の今日を過ごしていただければと思います。

3. 明日から新年、新しい年

- (1) ところで、来年はどうの年になるのでしょうか。おそらく経済の状況が大変な年がまた続くのではないかと、もしかしたらこれ以上大変になる年の始まりかもしれないという方もたくさんいらっしゃいます。ただ、そのようなときこそ一人ひとりが一所懸命に生きていく以外にありませんので、どのようなことがあっても自分の身は自分で守るつもりで、自覚を持って生活することが大事であると思います。

- (2)また、北関東の各県では1月の4日・5日ぐらいから私立高校の学業特待入学試験が始まります。残り1週間を切りましたので、中学校3年生の受験生の皆さんは最後のがんばりを見せていただきたいと思います。このように、受験生にとっては大晦日もお正月もないといった厳しい状況です。
- (3)よく考えれば、日本の現況は受験生と同じかもしれません。いろいろなことを自分の頭で考えて、大変な状況を自分の力で乗り切る以外に、自分たちの生活を切り開く道はないのです。また、国も自治体も破産寸前である、国のGDPの2倍も借金があり、実質的には破産しているとさえ言われていますので、今後ここからどのように脱却するかも考えていかなければならないと思います。
- (4)私の目標とする来年の生き方は、自分の身は自分で守る・自分のことは自分でする・人のせいにはしない・どのようなことがあっても、それを自分の力で乗り切るというものです。そのためにも、絶えず勉強をし続けなければと思っています。
- (5)ところで、年末と明日からの新年には、各新聞社は1年を振り返るということで大特集を組みますので、ぜひ皆さんも新聞をたくさん読んでいただき、今年1年を振り返っていただきたいと思います。
- (6)皆さんの中にも読んで下さった方がいらっしゃるかもしれませんが、私も今年の10大ニュースを自分なりに考えて、日本経済新聞に掲載させていただきました。そこで、皆さんも自分の身近なところで、あるいは国レベル・世界レベルでどのようなことが起こったかをまとめて、今年を振り返っていただきたいと思います。また、来年はどのような年にするかということについても自分で考えて年末・大晦日を過ごしていただくと、これほどよい過ごし方はないと思います。
- (7)もしかしたら、明日から大変な年になるかもしれません。しかし、あきらめたらおしまいですので、自分のことは自分で守るために絶えず勉強することが大事です。
- (8)そこで、明日1月1日の朝刊は厚いものが届きますので、ぜひ読んで下さいね。そこには、各新聞社が何か月も前から明日(元旦)のために書き溜めた素晴らしい文章がたくさんあります。コンビニなどにはいろいろな新聞が売っていますので、できれば1紙だけでなく、今までに読んだことのない新聞を2紙、3紙とたくさん読んでいただきたいと思います。そして、元旦・2日・3日ぐらいはそれらをじっくりと読んで過ごしていただけると有難いと思います。このようにして、有意義な年末とお正月を過ごしていただければと思います。

3. おわりに

- (1)この1年間、「開倫塾の時間」をお聴きいただきまして、本当にありがとうございました。おかげさまで、この番組も来年3月には26年目を迎えます。私もうまく頑張って内容のあることを少しでも多くお話しさせていただこうと思っていますので、どうかよろよろしく願いいたします。
- (2)今年は本当に大変なことがありました。よく生き長らえたと考えている方もたくさんいらっしゃると思います。ですから、この1年間を振り返りながら来年を見通す形で、この12月31日と新年の何日かを過ごしていただければと思います。
- 皆さん、くれぐれもよいお年をお迎え下さい。

— 2012年10月3日加筆・訂正、林明夫 —